



## CLUB WEEKLY No.0034

## よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

## 地域社会の経済発展/米山月間

例会日：2025年10月20日（令和7年10月20日）



会長 平松悦子

## 今日の例会

2025年10月20日

18:30～

- 今日の歌 【奉仕の理想】
- 出席報告 中島会員
- ニコニコ発表 中島会員
- 大阪上方RC指名委員会
- 卓話 間嶋会員

## 次回の例会

2025年10月27日

オンライン12:30～

- 今日の歌 四つのテスト
- 出席報告 安田会員
- 卓話 青戸会員
- 

## 会長の時間

平松悦子

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長 泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウエスレヤン大学（オハイオ州）シラキウス大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピーの基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる 夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

それから60余年の歳月が流れましたが、“民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

大阪上方ロータリークラブ

創立:2024年7月29日 例会:第1・3週目は対面・第4週目はオンライン

会長:平松悦子  
幹事:久保太公矢  
会報資料担当:青戸佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪  
TEL:06-6773-1111 FAX:06-6773-3322  
【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12 医療法人翔聖会 気付  
TEL:080-2026-1803 Mail:osaka.kamigata.r.c@kind.ocn.ne.jp

## 幹事報告

### 【幹事報告】

9月11日、9月25日の大手前整枝学園歯科検診に参加して頂いた方、ありがとうございました。

### 【今後の予定】

#### \* 大手前整枝学園歯科検診

日 時：10月9日（木）

参加を予定されている方、よろしくお願いいたします。

#### \* 金輪会のご案内

出席者：平松 悦子会長、久保

日 時：10月10日（金）18：00より

（受付は30分前より開始）

会場はシェラトン都ホテル3階です。

ご出席よろしくお願いいたします。



10.10 金輪会

## 前回出席報告

※（ ）内数字は出席免除会員の出席人数 会員：24名（免除 0名）

会員数	24 (0) 名
出席会員数	18 (0) 名
ゲスト	0 名
ビジター	0 名
合計	18 名

18/24 出席率：75%

## 前回ニコニコ箱報告

- 平松 悦子様 遅れて申し訳ございません。
- 溝畑 正信様 本日より事務局の脇門さん、お世話になります。本日卓話です。
- 間嶋 伸治様 ようやく秋らしくなってきましたね。美味しい物食べに行きましょう。
- 濱部 英和様 いつもありがとうございます。
- 久保 太公矢様 いつもありがとうございます。
- 遠藤 孝二様 いつもありがとうございます。
- 青戸 佳世様 10月、少し涼しくなりましたね。
- 竹谷 美和様 食欲の秋です。やっと涼しくなり過ごしやすくなりました
- 安田 剛様 いつもありがとうございます。
- 宮岸 隆様 今夜は月が見えるかな。
- 朝倉 千勝様 もうすぐカニの季節ですね。
- 和田 悠希子様 朝晩の犬の散歩が涼しくなりました！
- 古河 亜紀子様 万博終了まであと1週間！
- 道木 良明様 脇門様 お世話をかけますが、
- 道木 憲子様 宜しくお願い致します。
- 中島 勇人様 いつもありがとうございます。

皆様、ありがとうございました。

合計14名 25,000円



**ポリオとは**

ポリオは脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する病気です。ポリオウイルスに感染しても、感染者の90～95%は症状が出ませんが、約5%に発熱、頭痛、咽頭痛、悪心・おう吐など風邪のような症状が見られます。感染者のうち、麻痺型ポリオの発病は0.1～2%で、呼吸筋麻痺による死亡率は小児が2～5%、成人では15～30%と高くなっています。ポリオの特徴的な症状は筋緊張が低下（弛緩性麻痺）・筋萎縮が著明・片側肢の症状が強い（非対称性）ポリオの感染者はほとんどが乳幼児野生株ポリオウイルス（1型）が流行しているのはアフガニスタン・パキスタンのみですが、伝播（でんぱ）型ワクチン由来ポリオウイルスは中近東やアフリカにも感染者が多く、これらの国に渡航歴がある大人が感染することもあります。（ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあり、不活化ワクチンは値段が高く、生ワクチンは安いけど、ごくまれにポリオに感染してしまう事があります。）

**感染経路**

ポリオウイルスが口の中に入り、咽頭や腸の中でウイルスが増加したウイルスが血液中に入ります。ウイルスは感染者の便から他の方に移ります。便中に排泄されたウイルスは、症状の発症後も数週間にわたりウイルスを排泄するので感染源になります。宿主がヒトのみであり、犬やコウモリなどといった動物や哺乳類から感染することはありません。

感染すると、ウイルスはリンパ節から血液に侵入し、脊髄を中心とする中枢神経系へと移動します。神経系を侵し破壊することで、運動機能などに影響を与えます。ポリオウイルスの不活化に効果的なのは、熱、ホルムアルデヒド、塩素、紫外線で、アルコール消毒では効果がありません。身近なものでは次亜塩素酸ナトリウムです。

今期実施しようとしているパキスタンへのトイレの設置も感染を広げない為に有効なのではないでしょうか。

**日本でのポリオの歴史**

日本では1940年代に流行が始まり、全国各地で感染者が続出しました。1960年には北海道を中心に5,000名以上が感染し、大規模な流行が発生しました。そこで、1961年に経口生ポリオワクチンが認可され国民に一斉に投与された事で流行は収束しました。1980年にはポリオの感染が報告されましたが1981年以降は野生株ポリオウイルスによる麻痺は確認されていません。

日本では、根絶宣言に向けて、1998年5月1日から発生動向調査が実施され、1999年1月から2000年3月までの間に、急性弛緩性麻痺の患者全員に対して2回の便検査が行われ、ポリオウイルスが検出されないことが確認されました。その結果、日本国内でのポリオ患者の不在が確認され、国際的にも根絶が認められたのです。

**鉄の肺**

人工呼吸器である「鉄の肺」は、大きな鉄製のタンクに体ごと入り、タンク内の圧を大気圧より低くして肺をふくらませ（吸気）、圧をもとに戻す（呼気）ことで呼吸を手伝う装置です。ポリオにかかり、人口呼吸器「鉄の肺」と共に70年を生き抜いたアメリカ人のポール・アレクサンダーさんが2024年3月11日に78歳で亡くなりました。70年以上を鉄の肺と共に生き、挑戦を続けた方でした。ポールさんは、6歳の頃にポリオにかかりました。症状は重く、首から下が全て麻痺してしまいました。当時、アメリカの病院には同じような子どもが何百人もいたそうです。発症から18か月後、退院できることになりましたが、鉄の肺なしに呼吸はできません。しかし、ポールさんは諦めませんでした。3年ほどかけて、「カエル呼吸」と呼ばれる特殊な呼吸法マスターしたことで、体はマヒしたままですが、ポールさんはわずかな間なら鉄の肺から出られるようになります。その時間は少しずつですが、延びていきました。

（カエル呼吸とは、舌や喉の筋肉を使って空気を飲み込むようにして肺に送り込む特殊な呼吸法です。ポリオにより呼吸筋が麻痺した患者が、短時間であれば鉄の肺から離れて自力で呼吸するために習得しました。）10年以上かけて、数時間であれば鉄の肺から出られるようになったポールさんは高校に入学し1967年21歳の時、ポールはW.W.サミュエルハイスクールを、クラスで上位から2番目の成績で卒業しました。「鉄の肺」の中で生きる彼が、実際に教室で行われる授業に出席することはなく、手足の麻痺によりノートを書くこともできませんでしたが、ホームスクールの授業の内容を丸暗記するという方法で、勉強しました。



さらに、アメリカ有数の名門テキサス大学オースティン校のロースクールを卒業し、40歳の時には弁護士の資格も取得。その後、特注の車いすなどを使い30年にわたって法廷で活躍しました。

ポールさんは、ロータリークラブの会員でもありました。ポールさんが、自分の体を麻痺させたポリオの根絶に、ロータリーが取り組んでいると知ったのは、2015年テキサス州のダンカンビルでのあるビジネス会合で、一人のロータリー会員と知り合った時でした。ポールさんは「ポリオを根絶する」という考えに圧倒されました。これまで長年、ロータリーのこの活動について知らなかったのです。まさに自分にふさわしい団体だと思いました」と話します。

ポールさんは、2014－2015年度RI会長のゲイリー C.K. ホアン氏がオンラインで開催した入会式で、第5810地区ロータリークラブに入会しました。自身の経験についての本を執筆しているポールさんは、ポリオ根絶の大切さを伝えるために活動したいと考えていました。

第5810地区ガバナーのビル・デンディさんは、妻が制作しているポリオ根絶の動画に出演してほしいとポールさんに依頼しました。ポールさんはこれに同意し、地区のクラブの会員がインタビュー動画を撮影しました。ビル・デンディさんは、撮影後も毎週ポールさんを訪ね、ある日、彼にロータリーへの入会を勧めました。ポールさんは自分が貢献できるか分からないと言いましたが、オンラインで例会を開くクラブなら問題なく参加できると説得しました。ロータリーに入会して以来、ポールさんはダラスのロータリーのコミュニティで人気の講演者となりました。2024年3月11日にお亡くなりになる前、最後のロータリーとポールさんの電話での会話でポールさんは、「ロータリーの一員であることは私にとって非常に重要です。とても楽しく、色々なアイデアについて夜も寝ないで考えてしまうくらいです。人生で多くの人たちに出会いました。思いやりのある人がこんなに沢山いるとは思っていませんでした」と話してくれたそうです。

## 卓話 溝畑正信会員



### ポリオ根絶活動とロータリー

大阪上方ロータリークラブ

溝畑正信  
2025年10月6日

### ロータリー章典(2019年1月)

40.040.01. 新しいRIプロジェクト  
ポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない  
(2017年1月理事会会合、決定87号)

### 米国のWHO脱退意向に関する ロータリーの声明

- ・ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体である世界保健機関（WHO）から米国が脱退の意向を示しているという最近の発表を注視しています。ロータリーは引き続き、ポリオ根絶の使命に固い決意で臨んでいきます。GPEIの創設パートナー団体であるロータリーは、数十年にわたり、世界からポリオを根絶するためにGPEIのすべてパートナー団体および米国政府やほかの国の政府と緊密に協力してきました。この世界的な取り組みにより、1988年以来、ポリオによって麻痺を患う子どもの数は99.9%減少しました。また、すべての子どもに予防接種を行うために、長年にわたって何度も革新が重ねられてきました。
- ・ロータリーは、「ポリオのない世界」という約束を果たすために、引き続きGPEIのすべてのパートナー団体と協力することを決意しています。過去にも人類は天然痘を根絶しました。そして今、私たちは共に、ポリオを地球上で2番目に根絶されるヒト疾患とすることができます。

2025年2月13日

### パキスタンにおけるポリオの現状



### ポリオの状況 - 2025年8月25日現在 野生型ポリオウイルス(WPV)症例数

	2025年8月25日まで	2024年合計	2023年合計
全世界	24	74	12
常在国 (endemic)	2 アフガニスタン 3 パキスタン 21	99 アフガニスタン 25 パキスタン 74	12 アフガニスタン 6 パキスタン 6
非常在国 (non-endemic)	0	0	0



### ポリオとは

- ・かつては小児まひ（医学用語では急性灰白髄炎）
- ・病原体のポリオウイルスが脊髄の灰白質に入り込み神経細胞を傷害して筋肉を麻痺させてしまう病気
- ・筋肉が萎縮して手足が細くなる
- ・呼吸に関与した神経細胞が侵され呼吸不能となり死亡
- ・ワクチンが普及するまでは年間35万人余りが患
- ・治療法はなく、予防接種が唯一の対応策
- ・ポリオウイルスは人体でしか増殖できない

### ポリオ（急性灰白髄炎）の歴史①

- ・紀元前1500年：エジプト第18王朝のころの僧ルーマはその右脚が完全に麻痺し、高度に萎縮した様子の描かれた石碑と碑文
- ・1905年：スウェーデンの内科医オットー・イヴァー・ヴィックマンが、ポリオは人から人に感染する病気であり、症状のない人もポリオにかかっている可能性があることを指摘。
- ・1908年：ウィーンの2人の医師、カール・ラントシュタイナーとアーウィン・ポッパが、ポリオがウイルス感染による病気であることを発表。

## 急性灰白髄炎の歴史②

- ・1916年：ニューヨーク市でポリオの大流行が発生し、2,000人以上が死亡  
米国全土でも約6,000人以上が命を落とし、さらに数千人が麻痺に
- ・1929年：フィリップ・ドリンカーとハーバード大学のルイスA.ショーが、ポリオによる麻痺で呼吸不全となった患者のために「鉄の肺」と呼ばれる人工呼吸器を発明
- ・1955年：ジョナス・ソーク博士が開発したワクチンが「安全で効果的である」と宣言される
- ・1960年：アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可される

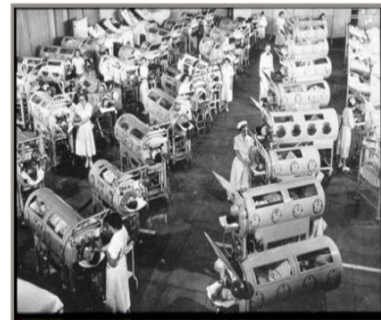
## セービングの生ワクチン



## ソークの不活性化ワクチン



## 鉄の肺



アメリカでポリオが流行した1950年代に、6歳でポリオに感染し、呼吸不全に陥って病院に運ばれ、医師がすぐに鉄の肺に入れ、2024年3月に死を迎えたポール・アレクサンダーさん



## 感染経路



## 麻痺型ポリオ症例の症状

- ・数日間の高熱に続いて、非対称性の四肢の弛緩性麻痺を呈する
- ・病初期より著明な罹患部位の筋萎縮
- ・罹患部位の腱反射減弱ないし消失、知覚異常は伴わない
- ・筋力低下、筋緊張低下および筋内萎縮が永続的な後遺症として残ることがある
- ・重症な場合、呼吸筋麻痺や球麻痺等により死亡する場合もある



## 治療法と予防法

- ・治療法：治療薬は存在せず、ポリオ発症後は対症療法のみ
- ・予防法：ポリオワクチンによる予防接種
- ・ポリオの治療薬は存在しないため、ポリオワクチンによる予防接種がポリオ発症予防および流行制御の基本戦略となる

## ポリオウイルスの種類

- ・野生株ポリオウイルス  
野生に存在するポリオウイルス
- ・ワクチン株ポリオウイルス  
病原性を弱めたポリオウイルスで、経口生ポリオワクチン(OPV)に含まれる
- ・ワクチン由来ポリオウイルス：VDPV (Vaccine-Derived Polioviruses)  
遺伝子の変異したワクチン株ポリオウイルス
  - cVDPV (circulating VDPV)  
地域社会においてヒト-ヒト伝播を起こしたという証拠が存在するVDPV。
  - iVDPV (immunodeficiency-associated VDPV)  
VDPV感染が引き起している免疫不全患者から分離されたVDPV。
  - sVDPV (ambiguous VDPV)  
免疫不全かどうか明らかでない者から臨床現場で分離されたものの、汚水から分離された発生源が明らかでないVDPV。

## 世界ポリオ撲滅イニシアティブ(GPEI)

- ・1988年、世界保健総会は、世界的なポリオ撲滅のための決議を採択し、各国政府、WHO、国際ロータリー、米国疾病予防管理センター(CDC)、ユニセフが主導し、その後、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とGavi(ワクチン・アライアンス)が参加した「世界ポリオ撲滅イニシアティブ」の発足を記念しました。
- ・野生型ポリオウイルスの症例は、125以上の流行国で推定35万人から2023年には12件に報告された1988年以来、99%以上減少しています。野生型ポリオウイルスの3株(1型、2型、3型)のうち、野生型ポリオウイルス2型は1999年に、野生型ポリオウイルス3型は2020年に根絶されました。2024年現在、風土病の野生型ポリオウイルス1型はパキスタンとアフガニスタンの2か国に残っています。

## グローバルポリオ撲滅イニシアチブ(GPEI)

- ・1988年、世界保健総会は、世界的なポリオ撲滅のための決議を採択し、各国政府、WHO、国際ロータリー、米国疾病予防管理センター(CDC)、ユニセフが主導し、その後、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とGavi(ワクチン・アライアンス)が参加した「世界ポリオ撲滅イニシアティブ」の発足を記念しました。
- ・野生型ポリオウイルスの症例は、125以上の流行国で推定35万人から2023年には12件に報告された1988年以来、99%以上減少しています。野生型ポリオウイルスの3株(1型、2型、3型)のうち、野生型ポリオウイルス2型は1999年に、野生型ポリオウイルス3型は2020年に根絶されました。2024年現在、風土病の野生型ポリオウイルス1型はパキスタンとアフガニスタンの2か国に残っています。



## 国連総会 ニューヨーク(2025年9月22日)

- ・世界の保健指導者らが会合し、80カ国大会のサイドイベントでポリオ撲滅に向けた最後の取り組みについて話し合った。WHO事務局長 テドロスA・ゲブレイエス博士：ポリオ撲滅は共通の責任です。1988年以来、世界は人々と地域社会が耐えてきたポリオの負担を劇的に軽減しました。WHOは、各国がウイルスを検出、対応、予防できるように支援し続けることに尽力しています
- ・サルマン国王人道援助救済センター(KSRelief)、ユニセフ、世界保健機関(WHO)、世界ポリオ撲滅イニシアティブ(GPEI)が共催した「団結して仕事を終わらせる:ポリオ撲滅に関するハイレベルサイドイベント」は、アフリカとアジアの脆弱な環境で発生した変異型ポリオウイルスの流行への対応を強化するとともに、アフガニスタンとパキスタンにおける野生型ポリオの伝播を終わらせる緊急の必要性を取り上げた。



## 私たちの戦略

- ・ GPEI戦略2022-2026は、あらゆる形態のポリオウイルスのない永続的な世界を実現するためのロードマップを示しています。この戦略には、2つの明確な目標があります。
- 目標1:** 流行国におけるポリオウイルスの感染を阻止する
- 目標2:** 変異型ポリオウイルスの感染を阻止し、非流行国での流行を防ぐ。
- ・ 戦略的および戦術的アプローチは、GPEIによって常に分析および評価され、進化する疫学、ウイルス学、運用、政治、文化社会、財政の発展を反映するように動的な方法で適応され、開発される新しいツールやソリューションを活用します。
- ・ この戦略の最終的な目的は、いかなる形態のポリオウイルスによっても二度と子どもが麻痺しないようにすることです。

## 日本におけるポリオの流行と対策

- 日本のポリオ流行歴と根絶
 

日本では、1940年代から全国各地でポリオの流行が確認されていた。1960年には北海道を中心に約5,000人の患者が発生する大流行。

このため、1961年に経口生ポリオワクチン（OPV）を緊急輸入し、一斉接種によって流行は急速に終息した。

その後、野生株ポリオウイルスによる感染例は1980年の1型ポリオの症例を最後に報告されていない。日本では2006年10月にWHO西太平洋地域でポリオ根絶が宣言され、国内での流行は完全に終息した。
- ポリオの現在の状況と対策
 

現在、日本では野生株ポリオウイルスの流行は確認されていない。ただし、国際的に見ると、アフガニスタンとパキスタンでは野生株ポリオウイルスの流行が続いており、また、一部の国で伝播型ワクチン由来ポリオウイルス（cVDPV）が報告されている。このため、渡航者への注意喚起や、国際的な監視体制が維持されている。

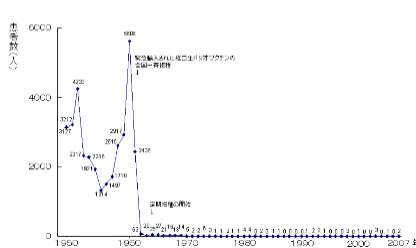
### 3. ワクチンの種類と接種スケジュール

- ・ 日本では2012年9月から経口生ポリオワクチン（OPV）の定期接種が中止され、安全性の高い不活化ポリオワクチン（IPV）への完全切り替えが完了した。
- ・ 接種スケジュール
 

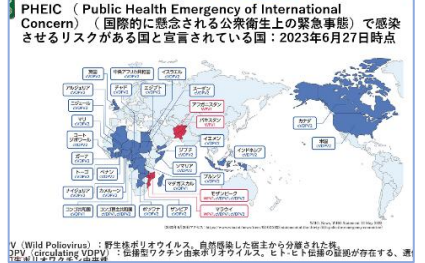
生後2か月から7歳6か月までに、初回3回と追加1回の計4回の接種が基本的な免疫形成スケジュール。2024年4月からは、ポリオIPVを含む「5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）」が定期接種として導入されている。
- ・ 任意接種の推奨
 

2018年8月より、小学校入学前の子どもに対して、三種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳）とポリオワクチンの5回目接種が推奨されている。これは、定期接種で得られた免疫が時間とともに低下する可能性があるため。

### 日本のポリオ患者数の推移1947年から根絶まで



### ポリオ発生国



### バス内



### プラットフォームおよび列車内



### 私のポリオ根絶活動

ポリオワクチン投与とグローバルプロジェクト



### グローバル補助金事業 ポリオ・ハイリスク地域に太陽光発電浄水装置



### インドにおけるポリオワクチン投与活動



### ポリオ治療拠点のSt.Stephen's病院



- ・ インドでは2011年以来、ポリオ野生株による発症は無く、ポリオは根絶されたが、アフガニスタン、パキスタンから入ってくる危険性があり、引き続きワクチン投与が必要。
- ・ 世界中のロータリアンは、政治的、宗教的、地理的に非常に厳しい条件の中で長年にわたりポリオ根絶活動を続けています。これによってほぼすべての国が「ポリオフリー」となった。
- ・ 現在野生株ポリオ発症国はアフガニスタン、パキスタンの2か国のみ。

- ・ ワクチン製造、冷凍庫、冷蔵バッグ、NIDに必要な帽子やユニフォーム、ポリオワーカーの活動資金、ワクチン投与ブースや施設の建設、維持にロータリーの資金が使われています。
- ・ 実際のポリオ患者を目的に、このような悲惨な病態を引き起こすポリオはこの地球上から何としても根絶しなければ、強く思いました。そして、そのためには、私たちロータリアンの支援が必要です。

## KEEP INDIA POLIO FREE



## EVERY LAST CHILD



Polio eradication can be our generation's legacy to all future generations. Only working together we can make history and end polio.

ポリオ根絶は、未来の人々への私たちが残す遺産となることでしょう。ともに協力し合うことでのみ、私たちは歴史を創ることができるのです。ポリオを根絶することができるのです。